

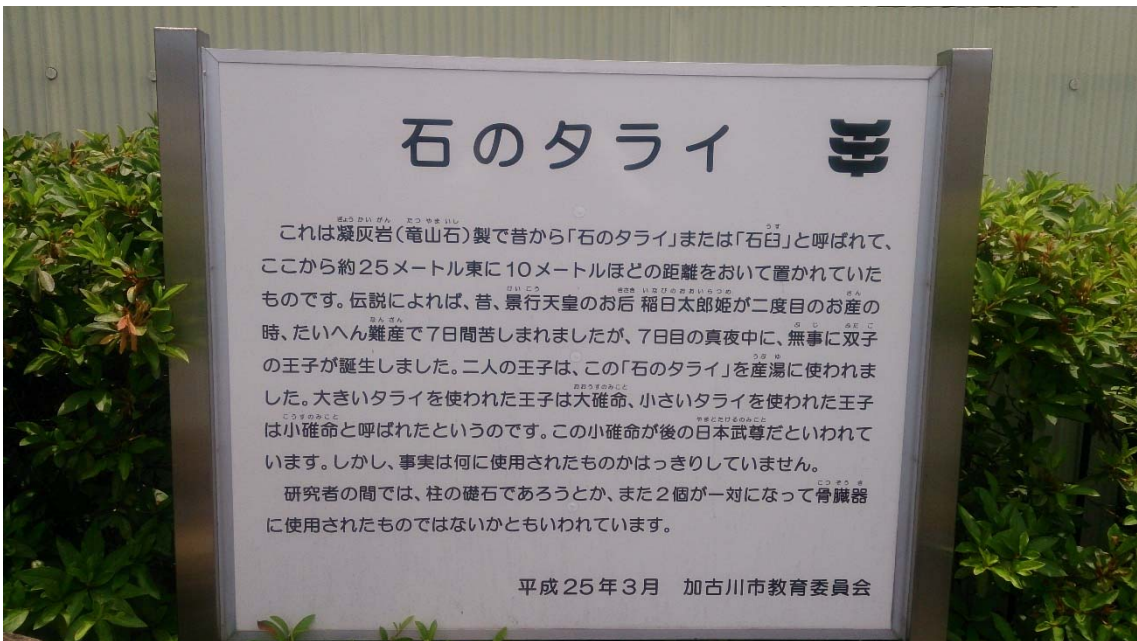
2019. 6. 25

畑 啓之

ヤマトタケルが産湯に浸かったと兵庫県加古川に伝えられるタライ

新興住宅地の中に突然現れるタライ。旧と新、なんともミスマッチな取り合わせだ。





石のタライ



これは凝灰岩(竜山石)製で昔から「石のタライ」または「石臼」と呼ばれて、ここから約25メートル東に10メートルほどの距離をおいて置かれていたものです。伝説によれば、昔、景行天皇のお后 稲日太姫が二度目のお産の時、たいへん難産で7日間苦しまりましたが、7日目の真夜中に、無事に双子の王子が誕生しました。二人の王子は、この「石のタライ」を産湯に使われました。大きいタライを使われた王子は大碓命、小さいタライを使われた王子は小碓命と呼ばれたといわれています。この小碓命が後の日本武尊だといわれています。しかし、事実は何に使用されたものかはっきりしていません。

平成25年3月 加古川市教育委員会

石のタライ



これは凝灰岩(竜山石)製で昔から「石のタライ」または「石臼」と呼ばれて、ここから約25メートル東に10メートルほどの距離をおいて置かれていたものです。伝説によれば、昔、景行天皇のお后 稲日太姫が二度目のお産の時、たいへん難産で7日間苦しまりましたが、7日目の真夜中に、無事に双子の王子が誕生しました。二人の王子は、この「石のタライ」を産湯に使われました。大きいタライを使われた王子は大碓命、小さいタライを使われた王子は小碓命と呼ばれたといわれています。この小碓命が後の日本武尊だといわれています。しかし、事実は何に使用されたものかはっきりしていません。

研究者の間では、柱の礎石であろうとか、また2個が一对になって骨臓器に使用されたものではないかともいわれています。

平成25年3月 加古川市教育委員会